



知的財産

支援活動だより

特集

UNITT Annual Conference 2019



トピックス

- ・12月までの支援活動
(東北会・関東会・東海会・関西会・中国会)

目 次

特 集 「UNITT Annual Conference 2019」

知的財産支援センター第2事業部

田中直人

栗河剛

5

1. 12月までの支援活動

東北会

・あおもり産学官金連携Day 2019	東北会	角田世治	12
・第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア	東北会	鈴木俊二	13
・ビジネスマッチ東北2019	東北会	藤田正広	14
・「第1学年フェニックスゼミ（働き方ゼミ）に係る研修会」 仙台市立仙台高等学校	東北会	稻穂健市	15

関東会

・2019「青少年のための科学の祭典」東京大会in小金井 関東会知財教育支援委員会	亀崎伸宏 佐藤高信	16
・「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館（第1回） 関東会知財教育支援委員会	伊藤夏香	17
・「知的財産特別授業」小金井市立小金井第一小学校 関東会知財教育支援委員会	高橋友和	18

東海会

・「知的財産特別授業」沼津工業高等専門学校	東海会教育機関支援機構	野崎洋平	19
・知財広め隊「週末パテントセミナー2019 in 津」	東海会三重県委員会委員長	伊藤寿浩	20
・休日パテントセミナー2019 in 諏訪「初心者のための商標講座一」	東海会長野県委員会委員長 副委員長	中山実 宮坂一彦	22

関西会

・「知的財産特別授業」和歌山工業高等専門学校	関西会知財授業担当	佐々木達也	23
・「知的財産特別授業」東海大学付属仰星高等学校中等部	関西会知財授業担当	八木まゆ	24
・令和元年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Café（第3回）	関西会知財普及・支援委員会	西村伸也	25
・パテントセミナー2019大阪応用編 第1回	関西会知財普及・支援委員会	泉谷透	26
・「知的財産特別授業」やたなか小中一貫校矢田小学校	関西会知財授業担当	森俊也	27
・「知的財産特別授業」西脇市立芳田小学校	関西会知財授業担当	原晶子	28
・パテントセミナー2019奈良	関西会知財普及・支援委員会	大川博之	29
・「知的財産特別授業」奈良県智辯学園奈良カレッジ中学部	関西会知財授業担当	寺薗佳江	30
・「知的財産特別授業」堺市立登美丘西小学校	関西会知財授業担当	吉永元貴	31
・パテントセミナー2019京都 午前の部	関西会知財普及・支援委員会	西村伸也	32
・パテントセミナー2019京都 午後の部	関西会知財普及・支援委員会	成田謙也	33
・パテントセミナー2019 大阪基礎編 第3回	関西会知財普及・支援委員会	上西敏文	34
・パテントセミナー2019 大阪基礎編 第4回	関西会知財普及・支援委員会	今井寛二	35

中国会

・知的財産活用セミナー「宝は足元に、農産物・食品ブランドは、こうやって作ってください！」	中国会	中西康裕	36
・知的財産連続講座“商標登録の「ツボ」”	中国会	松本文彦	37

2. 支援活動予定表（1月から）

相 談	38
講 演	41
その他	43

3. 支援活動一覧表（12月分）

相 談	44
講 演	46
その他	48



UNITT Annual Conference 2019

知的財産支援センター第2事業部 田中直人、栗河剛

令和元年9月6日(金)～7日(土)の2日間にわたり、東京都足立区の東京電機大学において、一般社団法人 大学技術移転協議会(UNITT)主催の「UNITT Annual Conference 2019」が開催されました。

本年度も、大学、TLO (Technology Licensing Organization (技術移転機関)) にて知財・技術移転業務に携わる実務者及び専門家、約500名が集い、弁理士会からも数十名が参加しました。オープニングセレモニー及びプレナリーセッションに続く全体セッションにおいて、組織マネジメントや、ライフサイエンス・AIデータ関連、ライセンスや、ベンチャー、产学連携リスク、人材育成など、様々な产学連携や技術移転について、5セッション会場(A～E)に分かれて活発な議論・情報交換が行われました。

また、当会では、協賛セッションとして、I 「特許基礎講座」及びII 「企業内弁理士から見た产学連携の課題と目指すべき方向性」の2セッションを開催いたしました。

以下、「UNITT Annual Conference 2019」で設けられた各セッションのテーマ名を紹介した後に、AMED・国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長の末松誠氏の基調講演について、一部を簡単に紹介します。

次いで、当会の協賛セッション I 「特許基礎講座」及び II 「企業内弁理士から見た产学連携の課題と目指すべき方向性」の2セッションについて、その概略を紹介します。

—各セッションのテーマ名—

(1日目)

- ・ 0 D 「R T T P申請書の書き方講習」
- ・ 1 A 「O I 機構の共同研究・知財マネジメント」
- ・ 1 B 「产学連携リスクマネジメント」
- ・ 1 C 「A I 技術の知財マネジメント (成果保護編)」
- ・ 1 D 「大学発ベンチャーの株式・新株予約権取得等に関する手引き書」
- ・ 1 E 「基礎講座1 特許基礎 弁理士会セッション(1)」
- ・ 2 A 「企業内弁理士から見た产学連携の課題と目指すべき方向性 (弁理士会セッション(2))」
- ・ 2 B 「AMEDセッション モダリティーに応じたアカデミア発医療シーズの出願戦略」
- ・ 2 C 「活用を見据えた発明発掘」
- ・ 2 D 「若手セッション 技術移転人材の育成と活躍—より魅力ある業界へ—」
- ・ 2 E 「基礎講座2 产学連携・技術移転契約入門」

(2日目)

- ・ 3 A 「新しい产学共同研究のかたち」
- ・ 3 B 「臨床試料・臨床試験データの利活用の推進と必要な制度設計」
- ・ 3 C 「開催校セッション—大学間ネットワークを活用した产学連携活動の“ヨイトコ”教えます!—」
- ・ 3 D 「ベンチャーキャピタルが出資をしたくなる大学発ベンチャーとは」
- ・ 3 E 「基礎講座3 共同研究契約のQ A」
- ・ 4 A 「大型研究・開発プロジェクトの知財マネジメントとその後」
- ・ 4 B 「小さな大学、地方の大学の役割と产学連携—Small Office の仕事術—」
- ・ 4 C 「A I ・データのライセンス」
- ・ 4 D 「大学によるベンチャー支援とライセンス」
- ・ 4 E 「基礎講座4 ライセンス」

〈オープニングリマーク〉



基調講演

新しく UNITT 会長に就任された 東京理科大学 学長 松本洋一氏の後に、文部科学省 大学技術移転推進室長 北野允氏、経済産業省 大学連携推進室長 川上悟史氏、特許庁 知的財産活用企画調整官 船越亮氏、東京電機大学 統括副学長 平栗健二氏の挨拶が順次ありました。

また、当会の協賛セッションにおいて、特許基礎講座のモダレータである知的財産支援センター 橋本虎之助会員から、当会が推進する「大学等における知財教育支援プログラム」について、紹介がありました。

〈基調講演〉

AMED・国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長の末松誠氏より、「世界の人口遷移に向けた医療研究開発の課題解決」との表題で、講演がありました。

まず初めに、「好むと好まざるに関わらずすべての国が遭遇する Great Demographic Transition」と題されたスライドを提示し、日本、南ヨーロッパ、ドイツ、東南アジアの順に超高齢化社会が確実に訪れることについて説明し、世界中が日本の動向に注目していること、日本にとってはピンチであるが、この状況をチャンスに変えることもできること、日本の中では特に秋田県と高知県が先行して少子高齢化が進んでいるので、秋田県と高知県を調べれば数年後の日本の姿が見えること、などについて示唆されました。

次いで、メガ・ファーマは感染症に対する投資を減らし難病に対する投資を増やしていくことに触れられ、難病を特定するのに必要な手順・方法などについて説明後、以下の本講演の本題について詳説されました。

「1. Building Human Capital 2. Exploring silver markets 3. Equity and Ethics (How to cope with GDPR) 4. Global date sharing and linking」

難病は症例が少ないため、世界規模でデータの共有が必要であり、日本と海外でデータの共有を行った結果、特定された病気が多数あることについて説明されました。

またデータの二次利用の問題点について、イギリスの医療保障制度である NHS では患者との契約書に民間企業へのデータの二次利用を認める文言があるのに対して、日本では民間企業へのデータの二次利用は認められていない、そのため難病治療薬開発の足枷となっている。などの具体例を取り上げながら説明されました。

以下、日本弁理士会の協賛セッションの2題について内容を紹介します。

〈I 特許基礎講座〉



モデレータ 橋本虎之助会員

スピーカー 平野隆之会員

スピーカー 佐藤博正会員

① 橋本総合特許事務所 橋本虎之助会員（モデレータ）

本セッションの導入として、当会はUNITTの協賛会員であり、2つの講座を提供していること、本講座の後で別室で2つ目の講座も提供していることが紹介された。本講座の各スピーカーの経歴が紹介された。

② さとう特許商標事務所 佐藤博正会員（スピーカー）

知的財産の種類を説明し、特許、意匠、商標、著作、営業秘密の各態様について、法律の基本的な内容から具体例まで含めて、詳細に説明された。

特許では発明の定義、権利範囲、実施などについて、意匠では携帯電話の例、商標ではマークと商品または役務との関係等が説明された。各項目について具体例も交えながら初学者でもわかりやすい内容で丁寧に説明された。特に現状の法改正や社会問題などのアップデート内容も随時織り交ぜながら、出席者の興味を引く内容であった。

③ インテクト国際特許事務所 平野隆之会員（スピーカー）

営業秘密の保護の具体例を、著名な飲料メーカーの場合について、製法特許、物質特許、ノウハウで保護することを比較しながら、それぞれの得失と合わせて説明された。

米国での知的財産盗用事件の具体例を用いて、産業スパイがどのようにして技術を盗み出しから等をステップごとに説明しながら、実際の営業秘密やノウハウの保護の仕方を学んだ。

出席者の間を周りながら各出席者に質問をして、実際にどうするかを考えてもらい、営業秘密やノウハウの保護の仕方を自らの考えと照らし合わせて進む講義であった。出席者からは様々な回答が得られ、新たな知見も得られたようであった。

④ パネルディスカッション（上記3者による）

橋本会員から、国際出願数や大学等の研究資金の現状、共同研究や受託研究も活発化していることなどの説明がなされた。また経産省の秘密情報管理指針利用のすすめ、特許法における査証制度の創設についての説明がなされた。佐藤会員からは特許とノウハウの保護の切り離しが必要であり秘密管理が必須であることが説明された。平野会員からは特許とノウハウの選別が必要であること、スタートアップ企業へのアンケートから、ステージにより意識に違いがあること、ノウハウを特定することの重要性などが説明された。

栗河剛

〈Ⅱ 企業弁理士から見た产学連携の課題と目指すべき方向性〉



モデレータ 佐々木健一会員



演者各氏



複数の業界の企業内弁理士による報告とパネルディスカション

1. 本セッションのねらい 佐々木健一会員（モデレータ 関西医科大学）

木下忠会員（スピーカー 東北大学）

- ・どうすれば 2025 年度までに企業から大学・国立研究開発法人への「投資 3 倍増」の実現を推進できるのか？
- ・企業との共同研究は年々盛んになっているが、研究成果が必ずしも実用化に結びついでいないのではないか？
- ・欧米と比較してまだまだ質・量ともに改善の余地があるのではないか？

大学の問題点を俯瞰的に把握しえる企業内弁理士が、実務上の経験から、研究開発戦略、知財マネジメントなど様々な視点で、大学に期待することや产学連携の課題と目指すべき方向性について議論する。

2. 各企業からの報告

① パナソニック株式会社 安武成記会員（知財プレゼンス向上委員会）

・会社概要

創業：1918年 資本金：2,587億円 従業員数：271,869名（連結） 業種：電機メーカー

・電機業界における知財の価値・あり方の変化

これまででは、件数重視（基本特許がいくつかあり、その周りを膨大な周辺特許やアイデア特許が固めるイメージ）で、自社製品の保護が目的であったが、現在は活用重視で、出願する以上はどのようにビジネスに貢献するかが必要とされ、ビジネスの保護が目的である。

・今後の大学との連携・目指すべき方向性

企業の価値観の変化に対応した連携の検討が必要である。これまででは、技術の強みという視点でシナジーを図るために技術軸で連携していたが、これからは別の視点での連携が必要であろう。

共同成果の訴求力強化に向けた取組の検討が必要である。大学との連携は、多くがR&D段階のものであり、利益になるビジネスモデルに直接結びつかないことが多かったが、今後は大学との連携によって創出された成果をブランドに仕上げるような検討も共同で行うことが必要である。

② 第一工業製薬株式会社 正司武嗣会員（知財プレゼンス向上委員会）

・会社概要

創業：1909年 資本金：8,895百万円 従業員数：985名（連結） 業種：化学品メーカー

・化学業界の特徴と产学連携

1つの製品を少数の特許で保護しているので、1件当たりの重要性が高い。

共有特許について企業側の独占実施の要求が強いので、不実施補償の重要性が高い。

他の業界と同程度の产学連携が行われている

・产学連携の課題

連携先の大学・先生を検討する場合にface to face以外の方法で研究情報を探ることが困難なので、素晴らしい先生を見つけるためにも、論文や特許に表れていない先生のスキル・ノウハウ・研究のアピール手段を検討できいか考えてほしい。

長く产学連携の関係を継続するためには、产学とも納得しうる「妥当性」が重要である。そのためには、双方担当者が経験値を上げること、知見の共有が必要ではないか。

技術の公開・保護・契約について先生への教育、先生のビジョン、产学連携に対する考え方を聞いたうえでの協働の推進が望まれるのではないか。

企業は常に良い先生を探しているので、先生の研究成果を学外へ積極的にアピールしてほしい。そのためのツールの1つとして知財もある。

③ 三菱商事ライフサイエンス 榎本政彦会員（知的財産支援センター）

・会社概要

発足：2019年 資本金：1,399百万円 従業員数：約1300名 業種：食品メーカー

・食品業界の特徴と産学連携

特許よりも商標を重視している（特に末端商品（一般市販品）を持っている企業は顕著）。

リバースエンジニアリングが難しいため、特許化よりも秘匿化する傾向にある。

2016年の審査基準の改訂により、食品の用途特許が認められるようになり若干変化してきている。

基礎研究における産学連携では、主に研究部門が主体となって数多く行っている。しかし、時間がかかり成果にもつながりにくいのが現状である。

応用研究における産学連携では、食品の健康機能性の味以外の評価などを（自社では評価が困難なため）大学の力を借りている。

・産学連携の課題

基礎研究段階では特に秘密にしておきたいため、秘密管理は徹底してほしい。共研の先生から他社の話を聞くと、自社のことも他で話されているのではないかと不安になる。

大学によって間接費に差があるので間接費の根拠を示してほしい。

3. パネルディスカッションの内容

① 「組織／戦略・ニーズ・スキルの共有・理解」について、以下の内容のディスカッションを行った。

・産学連携の取組は、会社のどのような組織・位置づけで取組んでいるか？

・産学連携を強化しようとしたときの課題は何か？

② 「テーマ、共同研究、契約費用」について、以下の内容のディスカッションを行った。

・共同研究先のアカデミアをどうのよにして探すのか、属人的からシステム的に変えすることはできないのか？

・共同研究開始のきっかけは何か？

—質疑応答—

【質問者はいずれも大学関係者】

Q 1 間接費の透明性はどの段階で求められるのか？

A 1 経営者への説明の際に必要となる。

Q 2 産学連携において、企業側も変わらなければならないという問題意識はあるか？

A 2 オープンイノベーションに対応できる柔軟性のある人材が必要である。

- Q 3 産学連携のマッチング法人の活用についてどう考えているか？
- A 3 サービスとしてはありがたいが、現状ではまだ参加者も情報量も少ないので、結局は会わなければ判断できない。
- Q 4 企業は大学に何を求めているのか、付合い程度の共研が多いように思われるがその実態は？
- A 4 成果を求められているのでそのような共研は減ってきていている。また、別の技術（自社にはない技術）を使わなければ解決できない事例が増えているので、今までとは（産学連携の）やり方を変えようとしている。
- Q 5 大学から提案される特許についてどう思うか（スピード感、権利範囲など）？
- A 5 企業は事業への貢献のために特許出願し、大学は成果の一環として特許出願しているので、その意識合わせが必要ではないか？しかし、5年、10年前と比べるとかなり変わってきてていると思う。

田中直人

1

12月までの支援活動

東北会

あおもり産学官金連携Day 2019

1. 日 時：令和元年10月30日（水） 12:00～17:00
2. 場 所：八戸プラザホテル ホテルアーバンホール
3. 支援員：東北会 上野大輔、坪淳一、角田世治会員
4. 内 容：

「あおもり産学官金連携Day」は、青森県の産学官金の連携を推進し、新産業・新事業の創出と青森県内ものづくり産業の発展を図ることを目的に毎年開催されています。今回は県内外の企業等、大学や公設試験研究機関など63企業・団体によるブース出展のほか、知的財産に係るセミナー、出展企業の技術マッチング交流会等が並行して行われました。参加者は350名以上になりました。

東北会は支援機関のコーナーにブース出展し、知的財産権制度の普及活動や無料相談を行いました。会場では、参加者を事前に募り希望のブースを巡るマッチングツアーが2回行われ、当地域会のブースには、10名以上が訪れ、参加支援員が、知的財産権制度や、当地域会の無料相談会などの取り組みを紹介しました。無料相談では1件の相談が寄せられました。

今回は、当地域会の出展のほか、青森県知的財産支援センターなど関連支援機関の出展や、同時開催の知的財産関連セミナーが行われ、多くの来場者が知的財産権の取得・活用について知見を深めることができる中での出展となりました。今回の出展及び相談会は、知的財産権制度の普及・啓発、弁理士及び当地域会の認知度向上に寄与するものであったと思われます。



会場の様子



ツアー参加者への説明（東北会ブース）

東北会 角田世治

第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア

1. 日 時：令和元年10月30日（水）・31日（木） 10：00～17：00
2. 場 所：ビッグパレットふくしま
3. 相談員：東北会 梅森嘉匡、山上誠、鈴木俊二会員
4. 内 容：

福島県では東日本大震災以降、再生可能エネルギー関連産業の育成を県内産業の復興の柱の一つとして掲げております。本フェアはその一環として開催される展示会であり、国内外から約220社・団体が出展する、同分野では国内最大級の展示会でした。

東北会では、2016年、2018年と本フェアに出展しており、今回が3回目でした。これまでと同じく知財無料相談会を実施しました。フェア開催期間中、3名の弁理士で相談対応を担当し、相談件数は、2日間を通じて8件でした。

なお今年は、福島県発明協会と隣りあうようにブースを構えることができたため、相談に来た方に、併せて福島県発明協会を紹介することができた点はよかったです。

2020年は出展を見送りますが、再生可能エネルギー分野はその振興に力を入れている分野であることから、発明が継続的に生み出される可能性のある分野であり、多数の関連企業が集まる本フェアへの出展は弁理士会にとって有意義であると考えます。

2021年以降の出展にあたっては、福島県発明協会と共同で出展するなど、より有意義で効率的な出展方法を検討したいです。



30日 AM



30日 PM



ブース全景



31日 AM



31日 PM

東北会 鈴木俊二

ビジネスマッチ東北2019

1. 日 時：令和元年11月7日（木） 10：00～17：00

2. 場 所：夢メッセみやぎ

3. 支援員：東北会 若山剛、藤田正広、梅森嘉匡会員

4. 内 容：

「ビジネスマッチ東北」は、東北地域におけるビジネスマッチングの創出を目的として2006年に初めて開催されたビジネス展示商談会です。今回で14回目を迎えます。503の企業・団体が参加し、496のブースが出展、総来場者数は7,426名でした。

東北会は、一昨年の出展に引き続き、本年もブースを設け、弁理士や知財制度等を広報する資料を配布するとともに、上記3名を相談員とする無料相談会を開催しました（相談件数：4組）。本年は、東北会で作成した広報用のパネルを掲示するとともに、知財制度を紹介する動画を上映しました。

弁理士、弁理士会、東北会、知財に関する種々の施策について、出展企業や来場者に知つてもらう機会になったのではないかと思います。



東北会 藤田正広

「第1学年フェニックスゼミ（働き方ゼミ）に係る研修会」仙台市立仙台高等学校

1. 日 時：令和元年11月13日（水） 10：00～12：00
2. 場 所：仙台市戦災復興記念館 4階第1研修室
3. 講 師：東北会 稲穂健市会員
4. 出席者：20名
5. 内 容：

本研修会は、仙台市立仙台高等学校 第1学年フェニックスゼミ（働き方ゼミ）の一環として開催されました。

弁理士の仕事とアイディア商品の事例について紹介した後、生徒のプレゼンテーションに対する講評という流れでした。

生徒のうち弁理士という職業を知っている人は皆無でしたが、具体的な仕事内容について説明したところ、非常に興味を持っていました。アイディア商品の事例についても身近なものを多く取り上げたことから、これまでとモノの見方が変わったという意見がありました。

生徒のプレゼンテーションは、いずれも持続的な社会を実現するため、高齢化問題やゴミ問題や心の問題といった様々な課題を解決するためのアイディアに関するものでした。従来技術と比較した進歩性といった弁理士としての視点や、事業性というビジネス的な視点からコメントしたことで、生徒はアイディアのブラッシュアップについてのヒントが得られたようでした。生徒たちの現状に合った大変有意義なセミナーとなったように思います。



東北会 稲穂健市

関 東 会

2019「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井

1. 日 時：令和元年9月22日（日） 10:00～16:30
2. 場 所：東京学芸大学
3. 対象者：未就学生及び小学生約300名以上、保護者約150名以上
4. 講 師：関東会知財教育支援委員会 亀崎伸宏、佐藤高信、相澤正徳、林昌弘、竹内詩人
関東会東京委員会 折居章、竹澤誠、横山哲志

5. 内 容：

昨年と同じ内容で、参加者には発明工作としてペン立てを作ってもらいました。順次受け入れて対応しましたが、常に待ってもらう状況でした。このため、最初は同時に親子24組が着席できる形式で対応していましたが、保護者は立ってもらい、同時に48名が着席して工作できる形式に変更して対応しました。それでも、お昼休みの直後には、30名程待ってもらう盛況ぶりでした。作った発明工作品を持ち帰るために、ノベルティの「水平両開きノート」や冊子「ヒット商品はこうして生まれた」を入れた手提げ袋を350個用意しましたが、終了30分前に全て配布し終わり、その後来場した子供たちには渡すことができませんでした。

発明工作として、短い鉛筆や消しゴムなどの細かいものもキチンと整理できる一方で、トレイのように嵩張ることのないようなペン立てを作った子もいました。集中して取り組み、40分以上滞在している子供たちがほとんどでした。時間をかけても作り上げることができなかつた子もいましたが、「家に帰ってから続きをするんだ。出来上がったペン立ては写真に撮って、来年見せに来るね。」と嬉しそうでした。

なお、待機時間には、教室の後方で上映していた電子紙芝居（発明を身近に感じてもらうための物語）を見てもらいました。



発明工作の様子

関東会知財教育支援委員会 亀崎伸宏、佐藤高信

「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館（第1回）

1. 日 時：令和元年10月27日（日） 14：00～16：00

2. 場 所：江戸川区子ども未来館

3. 対象者：小学生13名

4. 講 師：関東会知財教育支援委員会 伊藤夏香、金子彩子

5. 内 容：

第1回：特許（1）

台風のため2週間ずれて開催しました。江戸川区内の様々な学校から、4年生を中心に、5年生、6年生も参加しました。

まず、発明への導入として、速く走るための靴について児童に考えて貰い、その後、実際の靴の発明を金子会員が紹介しました。

レオ君の電子紙芝居の後、4つのグループに分かれてペーパータワーの発明工作を行いました。

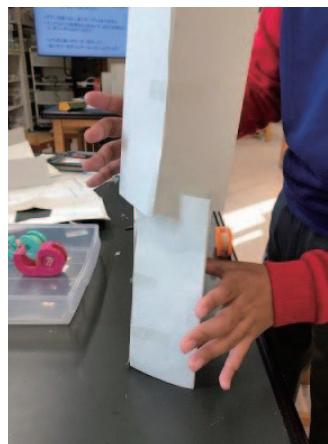
おもりとして紙箱入りの菓子を10秒載せられるタワーをA4の紙40枚で作って貰いました。

下の階の図書館館長から、発明に関する図書を多数持ってきて貰うことができたので、児童は本も参考にすることことができました。

学年も学校も違うメンバーでしたが、積極的に話し合い、構造を考え、作業の分担をしながらタワーを作成しました。完成後、それぞれ工夫した点を発表しました。

その後、発明クイズを行い、大盛り上がりのなか解散となりました。

6回シリーズの講義で、次回は特許（2）となります。



関東会知財教育支援委員会 伊藤夏香

「知的財産特別授業」小金井市立小金井第一小学校

1. 日 時：令和元年10月29日（火） 13：20～15：00
2. 場 所：小金井市立小金井第一小学校
3. 対象者：小学6年生27名
4. 講 師：関東会知財教育支援委員会 高橋友和、竹内詩人
5. 内 容：

小金井第一小学校では毎年小学6年生を対象に、総合学習の時間に職業EXPOというキャリア教育を行っています。今年初めて依頼があり、弁理士の職業についての授業を行いました。

今年の職業EXPOでは、全14の業種が集まり、体育館で各ブースに分かれて職業紹介を行う形式でした。児童は1グループ7～9人に分けられ、1グループにつき3つの業種について説明を受けることが可能です。一方で講師側としては1グループあたりに説明できる時間は15分で、15分×3グループという授業になりました。また、ブースが小さいこと、準備時間がないことからプロジェクターでの投影は行わず、パワーポイントの資料を児童に配布して、その資料を見てもらいながら授業を進めました。

授業内容としては、短い時間でどう説明するか非常に苦慮しましたが、商品開発の過程で特許、意匠、商標などの知財が発生すること、そこで弁理士が活躍し、どんなことをしているかについて説明しました。「講師が子供の頃の話も取り入れてほしい」との学校からの要望もあり、職業の説明は10分程度と短くなりましたが、子供たちは熱心に聞き入っていて、こちらの問いかけにも笑顔で答えてくれ、中身の濃い授業をすることが出来ました。

関東会知財教育支援委員会 高橋友和

東 海 会

「知的財産特別授業」沼津工業高等専門学校

1. 日 時：令和元年10月23日（水） 14：50～16：20
2. 場 所：沼津工業高等専門学校
3. 対象者：第3学年本科学生約210名
4. 講 師：東海会教育機関支援キャラバン隊 藤谷修、村瀬晃代、高田珠美、藤田早百合、森田昭生、野崎洋平、清水聰
5. 内 容

同校での知的財産出前授業（紛争劇）は、今回が4回目となります。同校では、パテントコンテストへの応募や知財検定の取得を奨励するなど、学生の知財教育に力を入れており、その一環として出前授業の依頼をもらいました。本年度は、出前授業の他にも、東海会の静岡県委員会の協力の下、工業所有権情報・研修館（INPIT）の認定を受けて、校内パテントコンテストを実施しているとのことでした。

授業では、まず、紛争劇で重要な特許法の基本的な知識を、消しゴムの発明、切り餅の発明など、身近にあるものを題材にして説明しました。

続く紛争劇は、それぞれ異なる「おにぎりパック」の発明者野崎パリ助と発明者高田海苔子とが争う形式で、模擬侵害訴訟のような形式で行うものです。配役は、発明者の他に、それぞれの発明者の代理人としての弁理士と、レフェリーと、解説者がいます。

双方の主張に対してレフェリーが判断し、○の数が多い方を勝利とするものです。紛争劇では、特許の取得までの流れ、侵害判断、先使用権、特許無効、そして最後にクロスライセンスが話題に挙がります。

紛争劇の途中では学生に適宜質問を投げかけて、学生を巻き込みながら紛争劇を進行しました。また、特許に対する親しみを感じさせやすくするために、紛争劇には笑いをとるための話題がところどころに含まれています。劇中、時折笑い声が起こるなど、学生には楽しみながら特許について学んでもらえました。

授業の後には、学生から特許に関して具体的な相談を受けるなど、紛争劇を通じて特許の重要性を理解してもらえたと感じました。



紛争劇の様子

東海会教育機関支援機構 野崎洋平

知財広め隊「週末パテントセミナー2019 in 津」

1. 日 時：令和元年11月15日（金） 14：00～16：50

2. 会 場：プラザ洞津

3. 対象者：中小企業経営者、知財担当者50名

4. 内 容：14：10～15：00 「知財を活かしたものづくり」

万協製薬（株） 代表取締役 松浦信男氏

15：10～15：50 パネルディスカッション「一筋縄ではいかない『知的財産の捉え方・考え方』—権利取得を目指す？ノウハウで保護する？etc.—」

万協製薬（株） 代表取締役 松浦信男

（公財）三重県産業支援センター 村上一仁

東海会三重県委員会副委員長 坂岡範穂

東海会副会長 中島正博

16：00～17：00 ポスターセッション

東海会三重県委員会 笠井美孝、小林洋平、寺本諭史、岡浩喜

5. コメント：

昨年度の本会「知財広め隊」事業の後継事業として、本年度も事業名を「知財広め隊」称しました。また、例年と同様に伊勢新聞社との共催で開催すると共に、事業者の社員なども参加しやすいように、気候の良い秋の週末に開催しました。

第1部の講演者には、三重県において何かと話題性の多い万協製薬（株）の松浦社長を招き、続けて第2部のパネルディスカッションのパネラーもお願いしました。また、パネルディスカッションでは、三重県の知財業界で存在の大きい三重県産業支援センターにも協力を依頼し、知財総合支援窓口の担当員として最も経験の豊富な村上氏にパネラーを務めてもらいました。

その結果、参加者が50名に達し、盛況に行うことができました。

第1部の講演では、万協製薬（株）の事業と知財との関係性について説明し、攻めの知財というよりは守りの知財の側面が強く、特に、他者特許の権利侵害を避けるために注力していることを話し、参加者にとっても大変参考になる内容でした。

第2部のパネルディスカッションでは、出願する場合とノウハウで保護する場合のメリット・デメリットなどを事例も交えて話し合いました。参加者にとっては、事例も交えることで具体的にイメージし易かったと共に、知財を守るための選択肢（戦略）などについて新たな気付きとなったのではないかと思います。

第3部では、発表者（弁理士）と聴講者との距離が近く、適宜質問も受けながら同じ目線で生声にて説明したため、聴講者は熱心に聞き入り、どのネタも大変盛況でした。また、説明終了後には、担当弁理士と聴講者との名刺交換も盛んに行われておりました。

第1部では講演者に知名度があり、第2部では短い時間ながら事例も交えて上手にストーリー展開して伝えたいポイントを的確に伝えることができ、第3部は新しい試みでありましたが大変盛況だったので、総じて、本年度の「週末パテントセミナー」も成功であったと評すことができると思います。



講演の様子



パネルディスカッションの様子



ポスターセッションの様子

東海会三重県委員会委員長 伊藤寿浩

休日パテントセミナー2019 in 諏訪「－初心者のための商標講座－」

1. 日 時：令和元年11月16日（土） 10：00～12：00
2. 場 所：諏訪市駅前交流テラス「すわっチャオ」
3. 内 容：
 - 第1部「商標制度の基本」
 - 第2部「商標の活用とプランディング」
4. 対 象：一般、起業を目指す方、企業関係者、知財関係者など34名
5. 講 師：
 - 第1部 東海会 三枝弘明会員
 - 第2部 長野県知財総合支援窓口知的財産アドバイザー 小沢益也氏
6. コメント：

第1部では、三枝弘明会員が「商標制度の基本」について説明しました。商標とは、商標の機能・種類、商標登録出願、登録要件、出願から登録までのフロー、権利更新、地域団体商標、外国商標、商標権の効力など、「商標制度」の大枠を概観し、商標制度の基本的事項を解説しました。

第2部では、小沢益也氏が「商標の活用とプランディング」について説明しました。商標を活用したプランディングについて、その成功事例／失敗事例を交えて紹介しました。県内事例についても紹介しました。また、取引者・一般消費者の印象に残りやすく、かつ、商標登録の可能性が高い効果的なネーミングのポイントやネーミングする際の注意点を説明しました。

セミナーの様子



第1部：三枝弘明会員



第2部：小沢益也氏

東海会長野県委員会委員長 中山実
副委員長 宮坂一彦

関 西 会

「知的財産特別授業」和歌山工業高等専門学校

1. 日 時：令和元年10月9日（水） 13：00～13：50
2. 場 所：和歌山工業高等専門学校
3. 対 象：1年生1クラス40名
4. 講 師：関西会知財授業担当 佐々木達也、松山徳子
5. 内 容：

和歌山県の中部の御坊市にある和歌山工業高等専門学校の電気情報工学科の1年生に、ペーパータワーの発明工作授業を行いました。

当日は雲一つない秋晴れで、綺麗な海の向こうには対岸の徳島県が見えるほどでした。

同校では1学科40名の1クラスで、生徒の多くは併設の寮から学校に通うため、ほとんどの時間を共に過ごすことのこと。授業前の昼休みに授業の準備をしながら生徒達の様子を見ていたのですが、とても仲が良く、明るい雰囲気のクラスであることがすぐに分かりました。

生徒達はこの授業の2日前に先生から特許や意匠についての講義を受けており、特許が発明に関連することを理解したうえで授業に臨みました。

円柱を並べて上に積み上げるタワーを考える班が多い中、細い柱を斜めに配置して中央を支えるタワーを作る班、三角柱を基本構成としてタワーの強度を保とうとする班など、どれも異なる形式となっていました。また、高さではなくデザイン賞を狙ってタワー頂上の形状を工夫した班もありました。

オリジナルのものを作ることが大事という説明をしたわけではないのですが、全て異なる形のタワーができたのは、どの班の生徒達もオリジナルのものを作るという感覚を自然に持っているからと感じました。

授業後には、生徒達がこれから取り組む課題としての「ペット用知育玩具」の開発についての説明が先生からありました。これからアイデア出しをして、来年のパテントコンテストへの参加を目指すとのことです。

今回の授業を受けた生徒達は、今後も継続的に知的財産に触れていく機会を持ち続けるようなので、これからどのようなアイデアが生まれていくのか楽しみです。



授業の様子

関西会知財授業担当 佐々木達也

「知的財産特別授業」東海大学付属仰星高等学校中等部

1. 日 時：令和元年10月10日（木） 14：30～15：20
2. 場 所：東海大学付属仰星高等学校中等部
3. 対 象：1-3年生9クラス226名
4. 講 師：関西会知財授業担当 光明寺大道、八木まゆ
5. 内 容：

東海大学付属仰星高等学校中等部は、日本代表が日本中を沸き立たせたラグビーで、本年全国大会3連覇を達成するほどに強い学校です。その他のスポーツでも実績を残しているようで、高校生かと思うほどに身体の大きい生徒も見かけました。

文武両道を掲げる同校は、知的財産教育にも熱心に取り組んでいます。その一環で知的財産特別授業も毎年依頼をいただき、中等部の生徒が一斉に授業を受ける形式で実施しています。普段、担当の教諭から知財に関する授業を受け、また、前年、前々年と知財財産特別授業を受けている生徒達は、「弁理士」という職業に関する知識があり、知的財産に馴染みがある様子でした。2、3年生が前年受けた知財授業は寸劇、前々年は講義でしたので、本年は、工作授業を通して、与えられた同一の課題に対し様々な手段で解決するという「発明」の多様性を体験してもらいました。

大きな体育館で、前代未聞の約250名によるペーパータワーの製作が始まりました。ベテラン講師である光明寺会員もこの人数は未経験です。5～6名ずつの班に分かれた生徒達は、話し合いながら、時に他の班の様子を伺いながら、おのおの独特な部分を持つタワーを製作していました。短い時間の中ではありましたが、複数の班で100cm以上の高さのタワーが完成に至りました。170cmにもなる最も高いタワーを製作したのは3年生の班でしたが、2番目に高いタワーを製作したのは1年生の班でした。

生徒達には、知的財産に関する知識や、工夫することの大切さを知ることのみならず、限られた時間で課題を解決するためには建設的に意見を述べ、適切に役割を分担する必要があるという、チームワークについても普段と異なる観点から学んだのではないでしょうか。



授業の様子

関西会知財授業担当 八木まゆ

令和元年度知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Café（第3回）

1. 日 時：令和元年10月11日（金） 15:00～16:30
2. 場 所：クリエイション・コア東大阪
3. テーマ：ビジネスで起こる「知財の課題」
～こんなとき、どうする～
4. 講 師：INPIT-KANSAI 知財戦略エキスパート 濱野廣明氏
ファシリテーター 坂口智康氏
5. 受講者：44名
6. 内 容：

契約・知財活用についての講師として、INPIT-KANSAIの知財戦略エキスパートの濱野氏を招きました。セミナーの形式は、前半は講義形式で、後半は対話形式でした。その対話形式では、用意された具体的な事例に対し、講師とファシリテーターが対話しながら講義を進め、前半の講義で得た知識に基づいて具体的な事例を確認していく、というものでした。

前半の講義では、事例に学ぶビジネスと知財の係わりとして、知財リスクと契約のポイントや、企業における知財活動の在り方について解説がありました。後半の対話形式の講義では、検討すべき事例として、共同開発や情報管理（自社秘密情報と提携先企業）の場面を挙げて、それらについて講師とファシリテーターの対話形式による解説がありました。一方で、受講者側から、知財に関する契約・取り組みにおいて対処に困った事例を挙げてもらいました。それについて、講師によるアドバイスなどを含む解説がありました。



講義の様子

関西会知財普及・支援委員会 西村伸也

パテントセミナー2019大阪応用編 第1回

1. 日 時：令和元年10月19日（土） 14：00～16：30

2. 場 所：TKPガーデンシティ大阪梅田

3. テーマ：意匠法大改正その内容と予想される実務

～デザインがブランド化する時代に向けて～

4. 講 師：松井宏記会員

5. 受講者：138名

6. 内 容：

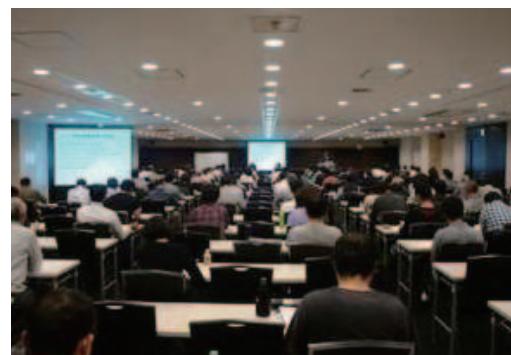
パテントセミナー2019の応用編第1回目は、松井宏記会員が「意匠法大改正その内容と予想される実務」というテーマで講義しました。受講者も130名を超える大勢の参加がありました。

講義では、2020年4～5月頃の施行が予想される意匠法の幅広い改正内容について順次紹介・解説をしました。我が国でも新たに追加される画像デザインや空間デザインの保護については、現状における保護の事例、改正に向けての産業界のニーズ、改正の方向性、改正により新たに保護が可能となり得る意匠について、豊富な事例を示して説明しました。今般の改正の目玉ともいえる関連意匠制度の大改正については、関連意匠としての出願範囲を大幅に拡張可能、出願可能期間の拡大等、デザインコンセプトの保護強化への活用の可能性について分かりやすく図版で説明しました。後半では、現在改訂が進められている意匠審査基準についての詳細かつ実務にも役立つ解説を行い、「出願戦略編」では、今般の関連意匠制度の改正を活かした新しい意匠の出願戦略について実践的な解説をしました。そして、最後の「新商標との関係」では、立体商標、色彩商標、位置商標等も活用した、意匠と商標を組み合わせたデザインのブランド化のための様々な方法論を紹介しました。

講義は内容の質・量ともに極めてレベルを高くし、近づく大改正の内容についての単なる解説を超えて、その活用戦略にも踏み込んだ極めて有益なものでした。受講者も、2時間半という長丁場を忘れ、大きな関心を持って終始食い入るように聴講している様子が印象的であり、実務に直結する「応用編」の名に相応しい講座であったと思われます。



講師：松井宏記会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 泉谷透

「知的財産特別授業」やたなか小中一貫校矢田小学校

1. 日 時：令和元年10月21日（月） 10：40～11：25
2. 場 所：やたなか小中一貫校矢田小学校
3. 対 象：6年生2クラス32名
4. 講 師：光明寺大道、森俊也会員
5. 内 容：

大阪市東住吉区にある大阪市立矢田小学校を訪問し、知財普及・支援委員会委員の光明寺会員と共に小学生向け知財授業（寸劇）を行いました。私にとって同校は2年前に続き2回目の訪問です。同校は、大阪市立矢田南中学校と同じ敷地内にあり、「やたなか小中一貫校」の名称の小中一貫校です。中高一貫校はよくありますが、小中一貫校は珍しいと思います。

今回の担当は6年生の2クラスで、一度で2クラスに対して授業を行いました。まず児童がみな集合時間に正確なのに驚きました。私はこれまで数回知財授業、発明工作を担当しましたが、授業開始のチャイムが鳴る前に全員が揃ったのは初めてでした。知財授業の間も児童達は非常に積極的で、「サラカップル」や「肩ブレラ」等の体験では手を挙げて参加してくれました。寸劇では、F博士をしたのですが、あまり児童の笑いは取れませんでした。一方、怪人X役の先生は非常に演技がうまく、児童達にも大うけで流石は先生と感服しました。寸劇の後でも安い模倣品の方を買うという児童達もいて、やはり大阪の子どもだと思いました。最後のクイズコーナーでは、乾電池の発明者が日本人というところで大半の児童がNOを選択し、残念ながら全問正解者はいませんでした。賞品の「カドケシ」は参加賞として全員配付としました。

今回の知財授業を通して、児童達に知財の大切さ、弁理士の仕事等について少しは理解してもらえたと思います。今後もこのような活動を継続していきたいと思います。



関西会知財授業担当 森俊也

※「カドケシ」はコクヨ(株)の登録商標です。

「知的財産特別授業」西脇市立芳田小学校

1. 日 時：令和元年10月25日（金） 11：35～12：20
2. 場 所：西脇市立芳田小学校
3. 対 象：5年生1クラス20名
4. 講 師：大野義也、原晶子会員
5. 内 容：

今回訪問した西脇市立芳田小学校は、兵庫県の中央の自然の豊かな場所にある小学校です。私達が訪れた日はオープンスクールの日で、他の学年でも外部から招いた講師による授業が行われており、多様な教育に力を入れている学校である印象を抱きました。

今回は、原が司会を、大野会員がF博士役を演じました。

授業の冒頭のエジソンの発明を紹介する場面では、児童達はエジソンが発明したものや蓄音機の機能をすでに知っており、児童達の知識の深さに感心しました。

身近な発明を考えるコーナーでは、数名の児童に前に出てもらい発明を考えもらいました。「サラカップル」の場面では、授業で紹介する発明と同じアイデアを思いつく児童がいたり、「肩ブレラ」の場面では、傘ではなく、両手に持っていた荷物を身体に固定して傘を持てるようにするアイデアを考えたりして、児童の発想力の高さ・豊かさに驚かされました。

寸劇のコーナーでは、先生に怪人Xを演じてもらいました。先生の演技がとても上手で悪者に思えたのか、「F博士が発明したものと怪人Xがまねして作ったものどちらを買う？」という質問では「F博士が発明したものを買う」との意見が多く出ました。この寸劇を通して、発明品を守ることの大切さを知ってもらえたと思います。

児童達が活発に自分の意見を発言してくれたので授業は非常に盛り上がり、楽しく発明を学んでもらえたと思います。また、授業が終わったあとも、複数の児童達が興味深そうに発明品を触っており、今回の授業で児童達に発明の面白さを知ってもらえたと感じました。



授業の様子

関西会知財授業担当 原晶子

パテントセミナー2019奈良

1. 日 時：令和元年10月26日（土） 14：00～16：30

2. 場 所：奈良商工会議所

3. テーマ：A I / I o T 関連技術の知財保護～A Iで特許を取れる？～

4. 講 師：川上桂子会員

5. 受講者：41名

6. 内 容：

「パテントセミナー2019奈良」は、川上桂子会員が「A I / I o T 関連技術の知財保護～A Iで特許を取れる？～」というテーマで講義しました。奈良での開催でしたが、遠方からの参加もあり、受講者は40名を超えていました。

講義内容としましては、A Iの基礎知識、A I関連発明の技術内容の紹介、国内での特許出願の状況を説明した上で、日本及び米国での実際の事例をいくつか取り上げて、どのようなポイントが特許として認められたのかを紹介しました。また、I o T関連技術に関しては、システム全体を請求項に記載すると権利行使不可能になってしまうため、請求項に記載する構成要件についての留意が必要との、I o T関連発明特有の注意事項を説明し、大変充実した内容の講義でした。

受講者も最後まで熱心に聴講し、最後に設けた質疑応答でも積極的に質問していました。受講者にとって、実り多い講義になったのではないかと思います。



講師：川上桂子会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 大川博之

「知的財産特別授業」奈良県智辯学園奈良カレッジ中学部

1. 日 時：令和元年10月26日（土） 10：00～11：30
2. 場 所：奈良県智辯学園奈良カレッジ中学部
3. 対 象：1・2年生1クラス23名
4. 講 師：光明寺大道、松山徳子、寺蘭佳江会員
5. 内 容：

中学1、2年生を対象に、さまざまな分野の専門家による「教養講座」が開講され、8つの講座の1つとして「知的財産特別授業」を行ってまいりました。

本講座は職業教育の一環でもあることから、冒頭に講師それぞれが弁理士になるきっかけや仕事の内容を紹介しました。

前半は、光明寺会員が司会兼弁理士役を、松山会員がユメノ社長役を、私がマネタ社長役になり、椅子に取り付け可能なスーツ用ハンガーをテーマにした寸劇を行いました。その際、担任教諭にデパート店員役を演じてもらい、和やかな雰囲気で進みました。寸劇を通じて、知的財産の概要、知的財産権の侵害、知的財産権の実施許諾等について、理解を深めてもらうことができたと思います。

続いて、質問の時間を設け、生徒や保護者、担任教諭から、知的財産権の調査はどのように行うのか、著作権と特許権の違いは？などの質問がありました。

後半は、5チームに分かれて、約40分でペーパータワーの作成に取り組んでもらいました。タワーの頂上に「カップヌードル」を置き、10秒間保持できたチームは1チームだけでしたが、創意工夫したタワーを完成させたチームに、担任教諭から特別賞が授与されました。

この授業を通して、特許をはじめとする知的財産権の意義を理解し、知的財産制度や弁理士という職業に少しでも興味をもってもらえたなら嬉しいと思いました。



授業の様子

関西会知財授業担当　寺蘭佳江

※「カップヌードル」は日清食品ホールディングス(株)の登録商標です。

「知的財産特別授業」堺市立登美丘西小学校

1. 日 時：令和元年10月29日（火） 11：40～12：25
2. 場 所：堺市立登美丘西小学校
3. 対 象：6年生3クラス111名
4. 講 師：立川伸子、吉永元貴会員
5. 内 容

今回、大阪府堺市にある堺市立登美丘西小学校を訪れました。授業は、6年生3クラス111名を対象に1コマ行いました。児童達はとても活発で、積極的に授業に参加してくれました。男子児童よりも女子児童の方が活発な印象を受けました。「サラカップル」や、「カタシャンボトル」、「肩ブレラ」について色々と工夫するときには、様々なアイデアを出してくれました。また、先生が演じた怪人Xは、児童達の興味を惹きつけるのに十分でした。先生のアドリブもあり、授業は大変盛り上がりました。最後のクイズの時間が足りなくなってしまうほどでした。

児童達は、サラカップルやカタシャンボトル、肩ブレラ等の発明品を実際に見たり触れたりすることができ、大変喜んでいました。発明の具体的な例を実物で紹介することは、児童達が発明に興味をもつために、とても重要なことだと思いました。

同校での知的財産特別授業では、教諭の皆さんに温かく接していただき、スムーズに実施することができました。今回の授業が児童達の小学校での思い出の1コマになり、児童達が将来、知的財産を尊重した生活をしてくれることを願います。



授業の様子

関西会知財授業担当 吉永元貴

パテントセミナー2019京都 午前の部

1. 日 時：令和元年11月2日（土） 10：00～12：30
- 2・場 所：京都リサーチパーク
- 3・テー マ：初めての特許・実用新案
4. 講 師：中西康文会員
5. 受講者：61名
6. 内 容：

受講生の習熟度としては、幅広いように感じました。講義後の質疑から想像するに、知財担当者であろうと思われる方が参加している一方で、明らかに、これから特許法などについて学ぼうとしている初学者と見受けられる参加者も多かったと思います。

講義内容は、特許発明、出願手続、文献調査、権利活用、異議申立、無効審判、実用新案を幅広く網羅するものでした。さらに、講義の終盤では、請求の範囲の構成要件などの説明がありました。具体的な内容として、例えば、文献調査の説明において、特許庁が発行する公報の種類などの説明がありました。さらに、それらの公報の表紙などを挙げて、見るべき個所や、そこにどんな事項が記載されているのかなどの説明がありました。また、文献の検索方法について、J-PlatPat の画面を用いて説明がありました。例えば、テキスト検索や特許分類を利用した基本的な検索方法などです。

所感として、初めての特許・実用新案というタイトルの通り、特許法について、その全体像を初学者に把握させるような講義であったと感じました。また調査の説明においては、初学者であっても、すぐに実践できるような内容であったと思います。また用意された配布資料は、講義で説明された内容を詳細に表示しており、初学者が後で見返して内容を確認できる内容であると感じました。

質疑応答では、難しい内容の質問が多く挙がっており、関心が高いと思われます。そして、講義の終了後においても、中西会員に対し追加の質問が複数ありました。中西会員は、それらの質問に対し、講義終了後も30分以上かけて、丁寧に対応していました。



講師：中西康文会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 西村伸也

パテントセミナー2019京都 午後の部

1. 日 時：令和元年11月2日（土）14：00～16：30
2. 場 所：京都リサーチパーク
3. テーマ：初めての意匠・商標
4. 講 師：竹内公孝会員
5. 受講者：49名
6. 内 容：

「パテントセミナー2019京都午後の部」は、竹内公孝会員が「初めての意匠・商標」というテーマ講義しました。受講者は、京都、滋賀、大阪、奈良などの近郊の企業、公的機関に所属する方が大半でしたが、中には岡山や福井など遠方から参加した方も見受けました。

講義の最初に、竹内会員から受講者に対して、意匠と商標のどちらに興味がありますかと問い合わせをしたところ、意匠、商標ともにほぼ同じであり、竹内会員からは商標が多いと思っていましたがやや予想外であったとのコメントがありました。

講義は、前半の1時間10分が意匠制度について、後半の1時間10分が商標制度についての内容で、その間に10分間の休憩時間を設けるという構成で進めました。意匠制度、商標制度とともに、制度全般にわたる説明から始まり、調査や外国出願について言及しました。そして、各講義の終わりには、類比判断に関する審決の内容を事例として紹介しました。基礎的知識のみならず、実務的知識まで踏み込んだ内容となっており、密度の高い講義だったのではないかと思います。

講義中では質疑応答の時間がありませんでしたが、講義終了後、個別に質問に応じるとのアナウンスをしていたところ、数名が竹内会員に駆け寄り質問をしていました。受講者は、今回の講義を通じて、意匠、商標というものがより身近に感じられるようになったのではないかと思います。



講師：竹内公孝会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 成田謙也

パテントセミナー2019大阪基礎編 第3回

1. 日 時：令和元年11月9日（土） 10：00～12：30
2. 場 所：関西会事務所
3. テーマ：特許調査入門～日本の特許文献・外国の特許文献の調べ方～
4. 講 師：原晶子会員
5. 受講者：101名
6. 内 容：

パテントセミナー2019の基礎編第3回は、原晶子会員が「特許調査入門」というテーマで講義しました。受講者も100名を超える参加がありました。

講義の最初に特許調査は何のために行うのか、また、特許調査は、目的に応じて調査を行うタイミング等が異なることをわかり易く説明しました。その後、自動車の自動ブレーキの調査事例について説明しました。J-PlatPatにおける調査はキーワードで検索を行う場合、何を説明するキーワードかを仕訳したうえで、出願書類の項目との関連性を決定して調査を行うと効率的であることを説明しました。また、キーワードには、類似語があるので注意する必要があることを述べました。

実際に、J-PlatPatを使用して、調査を実演しました。

分類検索について、まず、分類コードの概要と分類の見つけ方について説明した後、上記と同じ手順で調査の方法を説明しました。キーワードとの複合検索についても説明しました。

後半は、外国の特許調査について、PatentscopeとEspacenetを使用した検索の方法について、同じように自動車の事例の実演を交えて説明しました。パテントファミリーをうまく使うと調査の効率が上がることを説明しました。

難解な分類コードも丁寧に説明し、受講者もわかり易かったのではないかと思います。また、調査対象の分類コードの見つけ方に時間を割き、非常に参考になったと思います。

実際に、J-PlatPat、Patentscope及びEspacenetを使用して実演しましたので、単に机上の説明のみの場合と異なって、理解が容易であったのではないかと思います。

2時間30分と長い講義でしたが、受講者は最後まで関心をもって受講しており、また、短時間の質疑応答でしたが、積極的に質問していました。講義終了後も原会員のところに質問に行く受講者もあり、受講者にとっても有効な講義であったと思われます。



講師：原晶子会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 上西敏文

パテントセミナー2019 大阪基礎編 第4回

1. 日 時：令和元年11月9日（土） 14：00～16：30

2. 場 所：関西会事務所

3. テーマ：知れば知るほど面白い外国特許制度のポイント

～中国、インド、A S E A Nを中心～

4. 講 師：井上一生会員

5. 受講者：105名

6. 内 容：

パテントセミナー2019の基礎編第4回目は、井上一生会員が「知れば知るほど面白い外国特許制度のポイント」というテーマで講義しました。100名を超える参加がありました。

講義は、導入部として「日本の常識は世界の常識ではない」や「ルールは守られるとは限らない」などといった表題で自身の経験をもとに海外事情を面白く説明しました。続いて、パリ条約の三原則に始まり、ルート別の出願のやり方から審査の流れなどの基礎的な知識をおさらいし、同封の「海外知財支援ガイド」の内容も紹介しました。これらで以降の講義の理解も促進されたと思います。

各国特許制度の各論では、米国、欧州は簡単に、中国、インドを丁寧に、さらにA S E A N 10カ国も1カ国ごときっちりと取り上げて、それぞれの特許制度の特徴的なポイントをわかり易く説明しました。説明の中では、その国の裁判官と話した実例や、模倣品ばかり集めた問屋のようなデパートの写真、さらに、道端でロレックスの模倣品を売る人との会話なども紹介し、所々の笑いも交え、受講者は興味深く最後まで関心を持って聞き入っていました。

講義の終了後は、井上会員のところに質問者の長い列ができるで関心の深さを感じることができました。受講者には新たな気づきも多く有意義な講義だったと思います。



井上一生会員



会場の様子

関西会知財普及・支援委員会 今井寛二

中国会

知的財産活用セミナー「宝は足元に、農産物・食品ブランドは、こうやって作ってください!」

1. 日 時：令和元年11月5日（火） 13：30～16：35

2. 場 所：とりぎん文化会館

3. 対象者：中国経済産業局、鳥取県産業振興機構、鳥取県発明協会23名

4. 講 師：中国会 木戸基文会員

5. 内 容：

本セミナーは、農林水産業にたずさわっている方を対象としたセミナーであり、昨年度は「知財広め隊」として同様のセミナーを米子市で開催し、本年度は中国会主催のセミナーとして鳥取市で開催しました。

前半は、セミナー名称での講演を昨年に引き続き木戸基文会員が行い、自社の強みを生かしたブランドづくりの方法や、地域ブランドの作り方について等の話をしました。参加者には農林水産業に関する企業だけでなく、県庁の方や漁協関係者も参加し、皆講演を熱心に聴講していました。

前半の講演の後には、中国経済産業局から知財施策の紹介と、鳥取県産業振興機構から知財総合支援窓口の紹介があり、最後に参加者と弁理士との座談会を行いました。座談会では6名参加し、各弁理士に対して熱心に質問をしていました。

昨年に続き、参加者にとって大変有意義なセミナーになったのではないかと感じました。

また、セミナー開始前には弁理士会広報室から借りた「BENRI-C」を参加者の前で流し、会場には中国会の幟を掲げ、セミナー閉会時には中国会で取り組んでいるオリジナルTシャツの紹介やマラソン大会への参加活動を紹介する等、弁理士についてのPRも行うことができました。



セミナーの様子

中国会 中西康裕

知的財産連続講座“商標登録の「ツボ」”

1. 日 時：令和元年11月28日（木） 15：00～17：00

2. 場 所：広島弁護士会館

3. 講 師：中国会 田中咲江会員

中国経済産業局 知的財産室長・商標審査官 清棲保美氏

4. 参加者：30名

5. 内 容：

連続講座として別の日に弁護士が講師を担当する回があり、この日は弁理士と中国経済産業局 知的財産室長・商標審査官 清棲保美氏が講師を担当する回でした。

弁理士担当回として、田中咲江会員が“商標登録の「ツボ」”で講演を行い、弁護士とは異なる視点からトラブル事例、商標の基本、出願前に検討すべきこと、登録要件など、幅広く説明しました。

参加者は一般企業だけでなく弁護士も多くいて、参加者は講演を熱心に聴講していました。

また、弁護士との付き合いはあるが弁理士との付き合いは無い一般企業の方も来ていたはずですので、中国会単独で行うセミナーとは違ったPR効果があったと思います。



セミナーの様子

中国会 松本文彦

2

支援活動予定表（1月から）

相 談

北海道会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道会事務所	北海道会所属 弁理士

東北会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
宮城	毎週火曜日 (13:00~16:00)	常設知的財産相談室	東北会事務所	東北会所属弁理士

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
石川	20.01.15	常設知的財産相談室	北陸会事務所	松田忠秋
	20.01.29	常設知的財産相談室	北陸会事務所	海野徹

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
茨城	20.01.24	SATテクノロジー・ショーケース2020	つくば国際会議場	茨城委員会委員
	20.02.20	ものづくり企業フォーラム2020	つくば国際会議場	茨城委員会委員
埼玉	20.01.29－01.30	彩の国ビジネスアリーナ2020	さいたまスーパーアリーナ	飯塚道夫 上村欣浩 石井良和 石塚勝久 神田正義 杉原鉄郎 川島順 寺尾康典 岡崎廣志
	20.02.05	農と食の展示・商談会2020	さいたまスーパーアリーナ	寺尾康典 飯塚道夫 有馬百子 石井良和
千葉	20.01.09 20.02.13 20.03.12	弁理士による特許無料相談会（東葛）	東葛テクノプラザ	木船英雄 野村悟郎 田中秀皓
	20.01.09 20.01.23 20.02.13 20.02.27 20.03.12 20.03.26	東京商工会議所専門相談	東京商工会議所中小企業相談センター	三原秀子 石渡英房 池田直文 山口幸久 藤岡茂 深澤潔
東京	20.01.09 20.02.13 20.03.12	2019年度知財無料相談会（町田）	町田新産業創造センター	三原秀子 本谷孝夫 前田健一
	20.01.20 20.02.18 20.03.16	2019年度下期 多摩地域無料知的財産相談会	たましん事業支援センター (Winセンター)	本谷孝夫 下村和夫 山口幸久
	20.01.24 20.02.28 20.03.27	2019年度下期 BusiNest無料知的財産相談会	BusiNest内会議室	保坂俊 山口幸久 本谷孝夫
	20.02.20－02.21	第19回たま工業交流展	都立多摩職業能力開発センター人材育成プラザ	本谷孝夫 下村和夫 上田精一 深澤潔
	20.03.05－03.07	第13回としまMONOづくりメッセ	サンシャインシティ展示ホールB	東京委員会委員
	20.03.27	豊島区専門家合同相談会	豊島区役所4階	澁川喜和夫
神奈川	20.01.09 20.02.13 20.03.12	平成31年度知財相談窓口 (IDEC)	(公財) 横浜企業経営支援財団 相談窓口	藤巻正憲
	20.01.10 20.01.24 20.02.14 20.02.28 20.03.13 20.03.27	神奈川県立川崎図書館 平成31年度知的財産相談事業	県立川崎図書館知財スポット	植木泰弘 後藤仁志 小林俊雄 佐藤高信 長谷川陽子 江畑耕司

2. 支援活動予定表（1月から）／相談

神奈川	20.02.05	第41回工業技術見本市 「テクニカルショウヨコハマ2020」	パシフィコ横浜展示ホールA・B・C	未定
山梨	20.01.14 20.02.12 20.03.10	弁理士による特許無料相談会（富士吉田）	富士吉田商工会議所	堀内正優 深澤潔 望月義時

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	月～金 (13:00～16:00)	常設知的財産相談室	東海会事務所	東海会所属弁理士
	20.01.26	生活お困りごと無料相談会	ナディアパーク デザインホール	未定

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式)	京都府北部：舞鶴商工会議所 京都府中部：担当弁理士の事務所又は オフィス-ワン四条烏丸 京都府南部：京田辺市商工会館	京都地区会所属 弁理士
大阪	月～金 (10:00～12:00、 14:00～16:00)	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	関西会事務所	関西会所属弁理士

中国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
鳥取	20.01.09 20.01.16 20.01.23 20.02.06 20.02.13 20.02.20 20.03.05 20.03.12 20.03.19	知財総合支援窓口	鳥取県発明協会 (鳥取県産業振興機構内)	黒住智彦 中西康裕 田中秀明
	20.01.09 20.02.05 20.03.04			
	20.01.10 20.01.17 20.01.24 20.02.07 20.02.14 20.02.21 20.03.06 20.03.11 20.03.13 20.03.27	知財総合支援窓口	島根県発明協会	河野生吾 田村善光 河野誠 田辺義博
	20.01.18 20.01.22			
	20.01.10 20.01.17 20.01.24 20.01.31 20.02.07 20.02.14 20.02.21 20.02.28 20.03.06 20.03.13 20.03.27	知財総合支援窓口	(一社) 岡山県発明協会	森寿夫 中務茂樹 須田英一 笠原英俊
	20.01.07 20.01.14 20.01.21 20.01.28 20.02.04 20.02.12 20.02.18 20.02.25 20.03.03 20.03.10 20.03.17 20.03.24			
	20.01.16 20.02.06 20.02.20 20.03.05 20.03.19	知財総合支援窓口	(一社) 広島県発明協会福山	立石博臣 末次涉 田中咲江 鶴亀國康 松本文彦

2. 支援活動予定表（1月から）／相談

山口	20.01.08 20.01.15 20.01.22 20.02.05 20.02.12 20.02.19 20.02.26 20.03.04 20.03.11 20.03.18 20.03.25	知的財産権に関する相談	やまぐち産業振興財団	金井一美 今中崇之 井上浩 木村正彦
	20.01.09 20.02.13 20.03.12	知的財産権に関する相談	宇部商工会議所	藤本昌平
	20.01.09 20.02.13 20.03.12	知的財産権に関する相談	柳井商工会議所	川角栄二
	20.01.10 20.02.14 20.03.13	知的財産権に関する相談	下関商工会議所	鯨田雅信
	20.01.14 20.01.29 20.02.12 20.03.10	知的財産権に関する相談	萩商工会議所	木村正彦
	20.01.20 20.02.17 20.03.16	知的財産権に関する相談	徳山商工会議所	専徳院博
	20.01.21 20.02.18 20.03.17	知的財産権に関する相談	岩国商工会議所	立石博臣

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
徳島	第1水曜日（偶数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	工業技術センター	四国会所属弁理士
香川	第2.4水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国会事務所	四国会所属弁理士
愛媛	第1月曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国中央商工会議所	四国会所属弁理士
	第2木曜日（奇数月） 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	宇和島商工会議所	四国会所属弁理士
	第3木曜日（奇数月） 13:00～16:00	無料特許相談 (要予約・個人面談方式)	八幡浜商工会議所	四国会所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	高知県発明協会	四国会所属弁理士

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
福岡	毎週木曜 10:00～15:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	九州会事務所	九州会所属弁理士

講 演

東北会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
山形	20.01~02頃	高等専門学校への エンターテイメントセミナー	鶴岡工業高等専門学校	岩崎孝治
宮城	20.02頃	宮城県との協定に基づくセミナー 「中小企業のための使える商標 ワークショップ」	宮城県産業技術総合センター	梅森嘉匡

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
栃木	20.01.17	知的財産セミナー 2019 (宇都宮)	ホテルマイステイズ宇都宮	竹井啓 山田由美子 柏原崇行
東京	20.01.12 20.02.09 20.03.08	知的財産特別授業	江戸川区子ども未来館	斎藤進 山下滋之 バーナード正子 遠田利明 金子彩子
	20.01.28	知的財産セミナー 2019 (文京)	文京区民センター	阿部伸一
	20.02.19	東京弁護士会合同セミナー	JETRO 関連施設 (予定)	小林正英 池田清志 矢上礼宣 折居章 橋本虎之助 黒瀬泰之 樋田成人
	20.01.28	知的財産特別授業	横浜市立もえぎ野中学校	岩崎孝治 高橋洋平
神奈川	20.01.31	知的財産セミナー 2019 (平塚)	平塚商工会議所	山本一郎 石川史朗 金井隆夫
	20.02.14	知的財産セミナー 2019 (川崎)	県立川崎図書館カンファレンス ルーム	岩崎孝治
山梨	20.02.11	山梨の10士業による「第17回無料なんでも 合同相談会 各士業資格説明」	甲府市総合市民会館3階大会議室	未定

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
愛知	20.01.11	休日パテントセミナー 2019in名古屋 「特許権 ・実用新案権について～特許、実用新案って 何?身近な活用事例で学ぼう～」	名古屋商工会議所	谷山輝恵 成相英明
	20.01.16	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権 制度のしくみと活用～外国特許」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	北裕介
	20.01.16	知的財産経営サロン「デザインやブランドも重 要ですか?～意匠・商標で他社との 差別化を図ろう!～」	東海会事務所	知的財産支援 委員会
	20.01.18	休日パテントセミナー 2019 in 名古屋 「商標権について～ブランドを知的財産権にし よう～」	名古屋商工会議所	赤座泰輔 安田宗丘
	20.01.23	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権 制度のしくみと活用～知的財産関連法規まとめ」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	加藤拓司
	20.01.30	東海会開設日記念「知的財産セミナー 2020 ～迫り来る近未来の社会変革と知的財産 戦略<企業に貢献する知財>～」	名古屋観光ホテル	外部講師
	20.01.30	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権 制度のしくみと活用～知的財産関連法規 まとめ」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	未定
	20.02.06	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権 制度のしくみと活用～試験」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	大学側
	20.02.20	知的財産経営サロン「知的財産で事業を加速 させるためには?～事業計画に知的財産 活動を取り入れよう!～」	東海会事務所	知的財産支援 委員会

2. 支援活動予定表(1月から)／講演

大阪	20.01.17	知的財産特別授業	寝屋川市立楠根小学校	黒田智子 大代和昭
	20.01.21	知的財産特別授業	茨木市立東奈良小学校	立川伸子 中野賢太
	20.01.21	知的財産特別授業	大阪市立高見小学校	古田昌穂 伊原節子
	20.02.04	知的財産特別授業	寝屋川市立池田小学校	未定
	20.02.10	知的財産特別授業	高槻市立津之江小学校	山田淳一 三山峻司
	20.02.18	知的財産特別授業	藤井寺市立藤井寺西小学校	未定
	20.02.21	知的財産特別授業	大阪府アサンブション国際小学校	未定
	20.02.28	知的財産特別授業	河内長野市立小山田小学校	赤岡和夫 田中聰
兵庫	20.01.22	知的財産特別授業	神河町立越知谷小学校	大野義也 柴尾猛
	20.01.31	知的財産特別授業	西宮市立神原小学校	三方英美 齊藤整
奈良	20.02.10	知的財産特別授業	御所市立葛城小学校	未定

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
徳島	未定	四国地域知的財産担当者育成セミナー	未定	和田隆滋
香川	20.02.07 20.02.14 20.02.21	四国地域知的財産担当者育成セミナー	香川産業頑脳化センター	京和尚 洲崎竜弥
愛媛	未定	四国地域知的財産担当者育成セミナー	未定	松島理 相原正 小笠原宜紀
高知	未定	四国地域知的財産担当者育成セミナー	高知県工業技術センター	下方晃博

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
宮崎	20.01.11	延岡少年少女発明クラブ知財授業	延岡少年少女発明クラブ	園田康弘
沖縄	未定	沖縄科学技術大学院大学 知財セミナー	沖縄科学技術大学院大学	本堂裕司

その他

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
埼玉	20.01.08 20.01.15 20.01.22 20.01.29	知的財産特別講義	埼玉大学	杉岡真紀 有馬百子 寺尾康典
神奈川	20.01.23 20.03.26	平成31年度企業関係者と弁理士の知財研究会	県立川崎図書館 ディスカッションルーム	保科敏夫 鈴木一徳

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
長野	未定	長野県発明くふう展・審査会	長野県発明協会	未定

3

支援活動一覧表（12月分）

相 談

北海道会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道会事務所	北海道会所属 弁理士

東北会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
宮城	毎週火曜日 (13:00～16:00)	常設知的財産相談室	東北会事務所	東北会所属 弁理士

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
石川	19.12.11	常設知的財産相談室	北陸会事務所	金森毅

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
千葉	19.12.12	弁理士による特許無料相談会（東葛）	東葛テクノプラザ1階相談室	矢上礼宣
東京	19.12.12	2019年度知財無料相談会（町田）	町田新産業創造センター	相原礼路
	19.12.12	東京商工会議所専門相談	東京商工会議所中小企業相談センター	下田一弘 上田精一
	19.12.26			
	19.12.16	2019年度下期多摩地域無料知的財産相談会	たましん事業支援センター（Winセンター）	保坂俊
	19.12.27	2019年度下期BusiNest 無料知的財産相談会	BusiNest内会議室	下田一弘
神奈川	19.12.12	平成31年度知財相談窓口（IDEC）	（公財）横浜企業経営支援財団相談窓口	藤巻正憲
	19.12.13			植木泰弘 後藤仁志 小林俊雄 佐藤高信 長谷川陽子 江畑耕司
	19.12.27	平成31年度知的財産相談事業	県立川崎図書館知財スポット	
山梨	19.12.10	弁理士による特許無料相談会（富士吉田）	富士吉田商工会議所2階会議室	田中正男

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	月～金 (13:00～16:00)	常設知的財産相談室	東海会事務所	東海会所属弁理士

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	月～金 (10:00～12:00、13:00～17:00)	「特許・商標等」の無料相談（要予約・個人面談方式）	京都府北部：舞鶴商工会議所 京都府中部：担当弁理士の事務所又はオフィス-ワン四条烏丸 京都府南部：京田辺市商工会館	京都地区会所属 弁理士
大阪	月～金 (10:00～12:00、14:00～16:00)	常設知的財産相談室（要予約・個人面談方式）	関西会事務所	関西会所属弁理士

中国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
鳥取	19.12.04	知財総合支援窓口	鳥取県産業振興機構西部支部内	田中俊夫
	19.12.05	知財総合支援窓口	鳥取県発明協会（鳥取県産業振興機構内）	黒住智彦 中西康裕 田中秀明
島根	19.12.04 19.12.06 19.12.13 19.12.20	知財総合支援窓口	島根県発明協会	河野生吾 田村善光 河野誠

3. 支援活動一覧表(12月分)／相談

岡山	19.12.06	知財総合支援窓口	(一社) 岡山県発明協会	森寿夫 笠原英俊 須田英一
広島	19.12.03	知財総合支援窓口	(一社) 広島県発明協会	松本文彦 末次涉 田中咲江 鶴亀國康
	19.12.05	知財総合支援窓口	(一社) 広島県発明協会福山	森寿夫 専徳院博
山口	19.12.04 19.12.11 19.12.18 19.12.25	知的財産権に関する相談	やまぐち産業振興財団	木村正彦 金井一美 今中崇之 井上浩
	19.12.10	知的財産権に関する相談	萩商工会議所	木村正彦
	19.12.12	知的財産権に関する相談	宇部商工会議所	藤本昌平
	19.12.12	知的財産権に関する相談	柳井商工会議所	川角栄二
	19.12.13	知的財産権に関する相談	下関商工会議所	鯨田雅信
	19.12.16	知的財産権に関する相談	徳山商工会議所	専徳院博
	19.12.17	知的財産権に関する相談	岩国商工会議所	立石博臣

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会場	講師(弁理士、他)
徳島	第1水曜日(偶数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	工業技術センター	四国会所属弁理士
香川	第2・4水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国会事務所	四国会所属弁理士
愛媛	第1月曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国中央商工会議所	四国会所属弁理士
	第2木曜日(奇数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	宇和島商工会議所	四国会所属弁理士
	第3木曜日(奇数月) 13:00～16:00	無料特許相談 (要予約・個人面談方式)	八幡浜商工会議所	四国会所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	高知県発明協会	四国会所属弁理士

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会場	講師(弁理士、他)
福岡	毎週木曜 10:00～15:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	九州会事務所	九州会所属弁理士
	19.12.07	くらし・事業なんでも相談会	福岡市健康づくりサポートセンター 「あいれふ」	坪内寛 本多伸介

3. 支援活動一覧表(12月分)／講演

講演

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
富山	19.12.06	高専学生向け知的財産セミナー (権利行使編)	富山高等専門学校射水キャンパス	藤井俊一

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
埼玉	19.12.13	知的財産セミナー 2019(越谷)	越谷商工会議所 地下1階多目的ホール	桂田健志
千葉	19.12.16	知的財産セミナー 2019(幕張)	クロス・エーブル幕張 309 大研修室	八木田智 黒田義博
東京	19.12.01	知的財産特別授業	都立工芸高等学校	岩崎孝治 山下滋之 前田健一 上島寿郎
	19.12.04	知的財産セミナー 2019(千代田V4)	弁理士会館3F会議室	成瀬源一
	19.12.08	知的財産特別授業	江戸川区子ども未来館	斎藤進 山下滋之 バーナード正子 遠田利明 金子彩子
	19.12.07	知的財産特別授業	アイメッセ山梨	高原千鶴子 志村正樹

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
長野	19.12.05	弁理士会縦プロジェクト 「知的財産セミナーアイベント2019」	長野信用組合	井上佳知 伊藤浩二 岡村隆志 加藤光宏 堀内剛 須澤修 柏原秀雄 宮坂一彦 中山実
岐阜	19.12.16	知的財産特別授業	県立岐阜工業高等学校	加藤肇
愛知	19.12.04	知的財産特別授業	豊田工業高等専門学校	藤谷修 村瀬晃代 高田珠美 佐野朋子 森田昭生 野崎洋平 清水聰
	19.12.05	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと活用～不正競争防止法」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	岡浩喜
	19.12.09	知的財産特別授業	名古屋市立高蔵小学校	高田珠美 塩谷尚人
	19.12.10	知的財産特別授業	県立鶴城丘高等学校	藤谷修 北裕介 瀧川彰人 佐野朋子 森田昭生 野崎洋平 清水聰
	19.12.12	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと活用～著作権法1」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	藤田早百合
	19.12.14	休日パントセミナー 2019 in 名古屋 「意匠権について～製品のデザインを知的財産権で保護する～」	名古屋商工会議所	岡田康一 前田祥吾
	19.12.17	知的財産特別授業	県立刈谷工業高等学校	奥田誠
	19.12.18	知的財産特別授業	豊田市立拳母小学校	村瀬晃代
	19.12.19	東海会協力講座「教養教育課程～知的財産権制度のしくみと活用～著作権法2」	名古屋市立大学山の畑キャンパス	藤田早百合
	19.12.19	知的財産経営サロン 「知的財産を経営に活かすためには? ～過去の事例から学んでみよう!～」	東海会事務所	知的財産 支援委員会
	19.12.19	知的財産実践セミナー	星城大学東海キャンパス	林崇朗
	19.12.20	知的財産特別授業	県立刈谷工業高等学校	奥田誠

3. 支援活動一覧表(12月分)／講演

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
京都	19.12.18	2019年特許公報読み方教室第三期（第3回）	アーチウェイH・Cビル	中村淳志
大阪	19.12.02	三会協働知財支援プロジェクト 企業力向上セミナー 「スタートアップにおけるデータと法務・知財戦略 in 大阪」	大阪弁護士会館	弁護士 齊藤友紀氏 公認会計士 藤原祥孝氏 内田誠 河野英仁
	19.12.03	知的財産権に関するセミナー（第5回） 経営と知的財産 ～特許侵害で死にかけた社長の物語～	クリエイション・コア東大阪	株式会社ナベル 取締役会長 南部邦男氏、 吉田昌司氏、 大塚千秋氏、 寺園佳江氏
	19.12.05	知的財産特別授業	大阪狭山市立南第一小学校	山田淳一 阿世賀明日香
	19.12.07	パテントセミナー 2019 大阪応用編第3回 「海外ビジネスで感じた知財の視点 ～こんな筈ではなかったと嘆かなかったために!～」	TKPガーデンシティ大阪梅田	川島泰介氏 (INPIT-KANSAI 統括知財戦略工 キスパート)
	19.12.13	知的財産特別授業	堺市立新金岡東小学校	八木まゆ 佐々木達也
	19.12.14	パテントセミナー 2019 大阪応用編第4回 「AI/IoT時代のコンピュータ関連知財の保護 ～特許からデータ保護まで～」	TKPガーデンシティ大阪梅田	松下正
	19.12.18	パテントセミナー 2019 大阪基礎編第1回 「特許・実用新案入門」	関西会事務所	今井寛二
	19.12.23	知的財産特別授業	東大阪市立花園小学校	光明寺大道 村上太郎
兵庫	19.12.05	知的財産特別授業	上郡町立高田小学校	渥美元幸 石井里依子
	19.12.10	知的財産特別授業	滝川第二中学校	水田慎一 柳瀬智之 岡本智之
	19.12.19	知的財産特別授業	県立洲本実業高等学校	小林義周 五郎丸正巳
奈良	19.12.14	知的財産講座（第12回） 「大和郡山金魚電話ボックス著作権事件のその後について」	奈良県立図書情報館	金田敏孝

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛媛	19.12.10	知的財産特別授業	県立宇和島水産高校	小笠原宜紀

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
福岡	19.12.09	中小企業のリアルな事例から学ぶ 経営・知財戦略セミナー	福岡県中小企業振興センター	川口敬義

その他

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
埼玉	19.12.04	知的財産特別講義	埼玉大学	杉岡真紀
	19.12.11			有馬百子
	19.12.18			寺尾康典
東京	19.12.16	第17回多摩ブルー・グリーン賞・表彰式	たましん事業支援センター	下村和夫

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
愛知	19.12.07	あいち少年少女創意くふう展 2019・表彰式	産業技術記念館	奥田誠

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師（弁理士、他）
沖縄	19.12.15	未来の科学の夢絵画展・表彰式	沖縄県立博物館	本堂裕司 西平守秀

日本弁理士会東海会開設日記念「知的財産セミナー2020」

迫り来る近未来の 社会変革と知的財産戦略 ＜企業に貢献する知財＞

日本弁理士会東海会は、東海地区における知的財産活動の充実・発展への貢献を使命の一つとして活動しています。

「知的財産セミナー 2020」は、日本弁理士会東海会（旧東海支部）の開設日（1997.1.31）を記念して開催する恒例の知財セミナーです。

今年は、「迫り来る近未来の社会変革と知的財産戦略－企業に貢献する知財－」をテーマとしました。

自動運転、AIなどの技術の急速な進展により、近い将来、社会のありようが大きく変化すると予測されています。第1部では、近未来に起こる変革やそれに必要となる技術について解説をいただきます。続く第2部では、近未来的の変革を見据え、「100年に一度の大変革の時代を生き抜く」との決意の下、「H V特許」の開放などを遂行されているトヨタ自動車株式会社の企業戦略を、これにかかる知的財産部門の視点から解説いただきます。さらに、第3部では、数多くの知財事件などで知られるように、任天堂株式会社において、特許、意匠、商標、著作権、不競法などの知的財産権法を駆使して、ユニークな自社の製品、ブランドの保護に奮闘しておられる知的財産部門の取り組みを解説いただきます。

これらの講演は、皆様の関係する企業・団体における、現在そして将来の知財活用・知財戦略について、新たな気付きを得られるものと考えております。ぜひ奮ってご参加ください。

申込方法 参加を希望される方は、①裏面の申込用紙に所定の事項をご記入の上、下記宛てFAXで、②ハガキまたは電子メールにて、住所（会社の場合は部署・役職等もご記入下さい）、氏名、職業、電話・FAX番号を明記の上、1月24日（金）までにお申し込み下さい。後日入場券を発送いたします。

なお、インターネットでのお申し込みにつきましては、日本弁理士会東海会ホームページにおいて、ご案内します。

知的財産（知財）権とは、特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の総称である工業所有権（産業財産権）に著作権等を含めた権利の総称です。

《問い合わせ先》



日本弁理士会

東 海 会

名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階

電話052-211-3110 FAX052-220-4005

<http://www.jpaa-tokai.jp/> E-mail:info-tokai@jpaa.or.jp

主催●日本弁理士会東海会

後援●中部経済産業局、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、(一社)愛知県発明協会

予定

開催内容

第1部 13:10~14:30

「CASEとMaaSが変革する自動車開発や産業構造のありかた」

講師／野辺 繼男 氏
(Intelダイレクター 兼 名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授)

第2部 14:45~15:45

「クルマを取り巻く環境変化を踏まえたトヨタ自動車の知財活動」

講師／川越 健司 氏
(トヨタ自動車株式会社 知的財産部知財推進室 室長／弁理士)

第3部 16:00~17:00

「任天堂の基本戦略を支える知的財産部の取り組み」

講師／西浦 光二 氏
(任天堂株式会社 知的財産部 製品保護グループ グループマネージャー／弁理士)

参加費
無料

日時 2020年1月30日(木)

13:00~17:00 (受付は正午より)

場所 名古屋観光ホテル 3階「那古の間」

名古屋市中区錦一丁目19-30 電話052-231-7711

定員 600名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

対象 一般、学生、大学・企業の知財部門・研究者・技術者、
ベンチャー起業を目指す方、中小企業の経営者、
知的財産関係者

日本弁理士会東海会開設日記念「知的財産セミナー2020」

～迫り来る近未来の社会変革と知的財産戦略＜企業に貢献する知財＞～

第1部

「CASEとMaaSが変革する自動車開発や産業構造のありかた」(約80分)

13:10
～
14:30

講師 … 野辺 繼男 氏 (Intelダイレクター 兼 名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授)

今後の自動車の方向性は (1) 既存のクルマの延長線のオーナーと、(2) モビリティ事業者がシェアリングするサービスに分かれ、国際的に (1)は縮小する一方 (2)は拡大すると言われています。今後(1)と(2)の両者の基盤となるCASE (コネクテッド、自動化、シェアリング、電動化)と(2)のプラットフォームとなるMaaSの開発には、極めてICTの開発に近い考え方方が重要となり、技術開発や産業構造における協調・競争のありかたが根本的に変化する。そうした状況をお話しさせて頂きます。



休憩 15分

第2部

「クルマを取り巻く環境変化を踏まえたトヨタ自動車の知財活動」(約60分)

14:45
～
15:45

講師 … 川越 健司 氏 (トヨタ自動車株式会社 知的財産部知財推進室 室長／弁理士)

現在、自動車業界は、CASE (Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (シェアリング)、Electric (電動化)) に代表されるように、100年に一度の大変革期を迎えております。そのようななか、クルマを作る会社としての知財活動だけでなく、人々の様々な移動を支援する会社 (モビリティカンパニー) としての知財活動にも取り組むトヨタ自動車の知財活動についてご紹介します。

川越 健司 氏 プロフィール 2004年 トヨタ自動車 入社 (知的財産部)
2006年～2008年 (2年間) 米国ワシントンDCの法律事務所にて研修
2019年～現在 トヨタ自動車 知的財産部 知財推進室 室長



休憩 15分

第3部

「任天堂の基本戦略を支える知的財産部の取り組み」(約60分)

16:00
～
17:00

講師 … 西浦 光二 氏 (任天堂株式会社 知的財産部 製品保護グループ グループマネージャー／弁理士)

任天堂は、1983年に「ファミリーコンピュータ」を発売して以来、独創的なハード・ソフト一体型の娛樂製品を世界に向けてつくり続け、誰もが楽しめる商品やサービスを提供することへの挑戦を続けています。「任天堂IPに触れる人口の拡大」を目指す基本戦略を支える知的財産部の取り組みについてご紹介します。



※ご質問等はそれぞれの講演・発表の終了後にお受けします。 ※会場は室温調整が十分に出来ないこともありますので、衣服等で調整できるようご準備下さい。
※インフルエンザ流行等の事情により中止することがあります。中止の場合、弊支部ホームページでご案内します。

申込方法 及び 問合せ先

参加を希望される方は、

- ①下記の申込用紙に所定の事項をご記入の上、下記宛てFAXで、
- ②ハガキまたは電子メールに、住所(会社の場合は部署・役職等もご記入下さい)、氏名、職業、電話・FAX番号を明記の上、1月24日(金)までにお申し込み下さい。後日入場券を発送いたします。なお、インターネットでのお申し込みにつきましては、下記日本弁理士会東海会ホームページにおいて、ご案内します。

日本弁理士会 東海会
名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階
電話052-211-3110 FAX052-220-4005
<http://www.jpaa-tokai.jp/> E-mail:info-tokai@jpaa.or.jp

問い合わせ先

会場案内

名古屋観光ホテル

名古屋市中区錦一丁目19-30
電話052-231-7711

JR新幹線・在来線、近鉄線、名鉄線、
あおなみ線「名古屋駅」下車
ホテルまでタクシーで約5分

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、
③、④、⑩、⑪出口より徒歩約2分

東名高速道路 名古屋ICより約30分
名古屋高速都心環状線 錦橋出口より1分



日本弁理士会東海会「知的財産セミナー2020」参加申込書

所定の事項をご記入の上、FAXで052-220-4005までご送付下さい。

右記 □自宅宛 □会社宛 に入場券の 送付を希望	お申込み 代表者名	(役職)	(フリガナ)	同伴 参加者名	(役職)	(フリガナ)
					(役職)	(フリガナ)
					(役職)	(フリガナ)
	ご住所	〒 一				
	会社・団体名				(部署)	
電話番号		FAX				
メールアドレス						

※入場券をお送りしますので、必要事項は明確にご記入下さい。

※いただきました個人情報は、本セミナーを円滑に実施するために必要な範囲に限って利用する他に、当支部からのイベント情報の提供に利用させていただくことがあります。

年に1度だけ資格者が一致団結で開催する

生活お困りごと 無料相談会

あなたの疑問に専門家がお答えします。
お気軽にご相談ください。



予約不要 秘密厳守

日 時
令和2年
1月26日(日)
午前10時～午後3時30分

会 場
**ナディアパーク
「デザインホール」**

名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル3F

プロがスタンバイ!!

- 官公署への許認可手続きは **行政書士**
- 不動産登記・法人登記は **司法書士**
- 労務・年金・社会保険は **社会保険労務士**
- 土地建物の登記・測量は **土地家屋調査士**
- 法律問題は **弁護士**
- 不動産の価格・賃料の評価は **不動産鑑定士**
- 税務問題は **税理士**
- 監査・会計は **公認会計士**
- 特許・意匠・商標は **弁理士**

相談料
無料



後 援 愛知県・名古屋市・中日新聞社
主 催 名古屋自由業団体連絡協議会

団体構成

- ・愛知県行政書士会
- ・愛知県社会保険労務士会
- ・愛知県弁護士会
- ・東海税理士会
- ・日本公認会計士協会東海会
- ・愛知県司法書士会
- ・愛知県土地家屋調査士会
- ・(公社)愛知県不動産鑑定士協会
- ・名古屋税理士会
- ・日本弁理士会東海会

問い合わせ先

日本弁理士会 東海会
TEL.052-211-3110 (当番会)

◆会場へは ①地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車、徒歩8分
②地下鉄名城線「矢場町」駅下車、6番出口徒歩5分



常設知的財産相談室(無料)

※すべて事前予約制です。

北海道会

011-736-9331

URL : <http://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間：毎週火曜日・金曜日／14:00～16:00

東北会

022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間：毎週火曜日／13:00～16:00

北陸会

076-266-0617

URL : <http://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間：※相談日はホームページをご覧ください。

関東会

03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、
14:00～16:00

東海会

052-211-3110

URL : <http://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間：月～金曜日／13:00～16:00

関西会

06-6453-8200

URL : <http://www.kjpaa.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、
14:00～16:00

中国会

082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間：毎週水曜日／13:00～15:00

四国会

087-822-9310

URL : <http://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間：※相談日はホームページをご覧ください。

九州会

092-415-1139

URL : <http://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間：毎週木曜日／10:00～12:00、
13:00～15:00

それいけ
支援センタくん
飯岡 菜子



お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話：03-3519-2709（直） FAX：03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

H P : https://www.jpaa.or.jp/support_activity/